■インド：タタ社、デリーに EV 充電ステーション 1,000 カ所整備へ

2017 年 7 月 3 日付の報道によると、タタ・パワーの子会社で、デリー市内で配電・小売事業を営むタタ・パワー・デリー配電（TPDDL）は、今後 5 年間に電気自動車（EV）の充電ステーションをデリー市内に 1,000 カ所整備する。投資額は 10 億ルピー（約 17.4 億円）。現在、デリー市とデリー・メトロ（地下鉄）の 2 社と、充電ステーションの設置場所などについて協議が行われている。背景には、インド政府が今年 6 月に表明した、2030 年までに国内販売の自動車をすべて電気自動車にするという政策がある。